

事業名	林道通行安全管理費		
細事業名	林道通行安全管理費	財務コード	0166
担当部課室	森林環境 部 治山林道 課 林道 担当 (内線)	6305	

調書番号	73
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S49 年度 ~ 終期 ー 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県営林道利用者	通行の安全が確保されている	林道の保全と事故の防止
内容	①林道情報モニターの設置 異常気象時の林道状況提供、通行禁止標識の設置等業務を委嘱(H29:モニター数39名、情報提供152回) ②県営林道のパトロール委託 県営林道の安全点検業務の委託(H29:対象路線数24路線、283Km) ③南アルプス林道通行規制に伴う夜叉神、広河原ゲートの管理 南アルプス林道のマイカー規制期間中の交通誘導員等による規制実施とゲートの管理(H29:6/25~11/9の138日間×2名)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	県営林道パトロールの実施回数	目標	345	345	345	345	345	345	
		実績(見込)	315	312	317	322	317	304	345
		達成率	91.3	90.4	91.9	93.3	91.9	88.1	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	林道事故発生件数 (管理者責任分)	目標	0	0	0	0	0	0	
		実績(見込)	2	3	1	0	0	0	
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		6,684	7,043	7,455	7,469	7,620	7,927	8,220	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	近年は事故件数ゼロで推移しており、成果をほぼあげている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	近年は事故ゼロと最大の成果を得、有効に機能しているため、今後も事業を継続し事故の防止に努める。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	効果的なパトロール手法は確立されており、成果も毎年度発現しているため、見直しの余地はない。		
見直しの必要性	無	県営林道の安全管理は県の責務であり、成果も現れているため見直しの必要はない。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。